

憲 法

注 意 事 項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙は1枚だけ配付します。
- III 解答にあたっては、黒のボールペン・黒インクのペンのいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック消しゴムで消せないものに限りません）。それ以外で解答用紙に記入した場合は、無効とします。
- IV 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直してください。修正液・修正テープを使用してはいけません。
- V 設問が複数の場合は、解答用紙に設問番号を明記したうえで、解答してください。設問番号の記入がない場合は、無効とします。
- VI 試験時間は60分です。
- VII 問題は1ページにあります。

憲 法

〔問題〕

憲法 22 条 1 項の保障する居住・移転の自由と職業選択の自由について、「公共の福祉に反しない限り」との一節が付されているが、その「公共の福祉」は、上記いずれの自由についても同じ意味と解してよいかについて説明しなさい。また、海外旅行の自由について、その憲法上の根拠を憲法 22 条 1 項に求める見解と同条 2 項に求める見解について、それぞれの論拠を説明しなさい。